

熊本県南豪雨災害についての研修会

～ 民生委員児童委員協議会 ～

7月に発生した熊本県南豪雨災害の被災状況を知ることで地域の防災活動に生かすための民生委員児童委員協議会（落合陸男会長）で、研修会が開催されました。

当日は「令和2年7月豪雨水害および災害ボランティア活動について」をテーマに、社会福祉協議会の池田福祉活動専門員が社協の運営する災害ボランティアセンターでの経験をふまえ、実際に被災地支援で体験した事などを説明しました。

まず、多良木町の状況について説明し、町内で行われた床上浸水があった住家を中心に災害ボランティアが支援した様子などを紹介しました。町内では、活動先8件で56名の町内の皆さまに災害ボランティアのご協力をいただきました。

「活動中に一見、汚れてしまい捨てるものに見えても、依頼者（被災者）にとっては、大切な思い出の品であるかもしれない」「ぬれた量は、持ちにくく重いため、大人4人程でないとなんか運ぶことができない」などと実体験や、支援を受けた一人暮らしの高齢者がとても安心された様子だったことも紹介しました。

その後、球磨郡内でも特に被害が甚大だった人吉市と球磨村の被災状況について説明しました。今回の災害で、人吉市では900棟、球磨村も332棟の住家が全壊するなどの被害状況を実際の様子を交えて説明しました。人吉市では、活動件数2,090件、延べ19,182名が、球磨村では、活動件数120件、延べ1,024名の災害ボランティアが被災地のために支援活動を行いました。最後に、仮設の橋が球磨川にかけられるなど、少しずつ復興をしていく被災地の姿を紹介しました。研修に参加した民生委員に対して、「改めて自然災害の凄まじさを感じた」、「災害ボランティアの方々に感謝したい」などと感想が寄せられました。



多良木2区の1グラウンド・ゴルフ愛好会（高野利國会長）では、月に一度、地域の集落センターに会員が集まり、グラウンド・ゴルフの交流会を実施されています。

ご寄付へのお礼



今回は、その時に会員の皆さまから寄せられた善意の浄財を社会福祉協議会へご寄付いただきました。誠にありがとうございました。

令和3年度 社協の主な事業と行事計画について

社協理事会と評議員会で承認をいただき、令和3年度事業計画が決定しましたので、主な事業と本年度の行事等について紹介します。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響などで、中止を余儀なくされた行事もありましたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の流行状況や、予防対策を徹底し、開催方法などを地域の皆さまと話し合って実施していきたいと思います。

町民の皆さまの参加・ご協力、よろしくお願いいたします。

【社協の主な事業】

- ◎生活支援・介護予防サービスの基盤整備事業の推進
- ◎ボランティアセンター事業
（ボランティア育成・ボランティアポイント制度・ボランティア協力校の指定）
- ◎保育園の経営
（4月より、たらぎ保育園・くめ保育園のホームページを開設しました。ぜひご覧ください。）
- ◎居宅介護支援事業（高齢者対象）
- ◎訪問介護事業（高齢者対象）
- ◎通所介護事業（高齢者対象）
- ◎居宅介護事業（障がい者対象）
- ◎重度訪問介護事業（障がい者対象）
- ◎生活困窮者自立支援事業
- ◎地域福祉権利擁護事業
- ◎地区社会福祉協議会の設置と活動支援
- ◎ふれあいいきいきサロン事業の推進
- ◎福祉団体活動への支援と連携
- ◎福祉金庫貸付事業
- ◎生活福祉資金貸付事業
- ◎心配ごと相談事業
- ◎日本赤十字社会費募集活動
- ◎赤い羽根共同募金活動



◆令和2年度 社協の主な行事

月	主な行事の内容
4	・ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯及びねたきり者調査
5	・いきいきサロンボランティアリーダー情報交換会
8	・親と子の集い（ひとり親家庭の体験学習及び社会見学）
9	・たらぎ社協福祉まつり ・社協並びに老連共催グラウンド・ゴルフ大会 ・災害ボランティアセンター設置訓練
10	・在宅高齢者を火災等から守る情報交換会 ・ボランティア養成講座
12	・歳末たすけあい援護活動
2	・社協と老連共催の健康づくり活動

次の方々から社会福祉のためにとご寄付をいただきました。皆さまの温かい善意に感謝申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

（敬称略：受付順）

倉岡 清（故 ムラコ）多2区の2
小笹 信子（故 五男）多8区の1
大神 育（故 登美夫）久5区
淵田 又男（故 チカエ）多8区の1
樺木 栄一（故 宣子）黒6区
宮原 和広（故 イツ子）多7区の2

